

福津市ではSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます

環境掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019 FAX43・9005
E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

環境フォーラムinふくつを開催しました

「環境フォーラムinふくつ」を昨年(2022)の12月14日にイオンモール福津で開催しました。今回は「里山・里川・里海×里の暮らし」をテーマに、身近な暮らしの中から、環境についての興味や関心が持てるよう、体験や展示を実施しました。

その中でも魚釣り体験では、水産高校の協力で、床に再現された海の中からペットボトルのごみを釣り上げる体験を行い、子どもから大人まで幅広い年代の参加者が海のごみの多さに気付くきっかけになりました。また、市内で環境保全に取り組む市民団体、光陵高校、九州大学水産実験所のアクアフィールド科学研究室による展示も行いました。その他にも、環境に優しい取り組みとして、ダンボールコンポストの講習会や、3日間プラスチックを使わない取り組みの紹介を行い、参加者は実演を交えた講師の話に真剣なまなざしで聞き入っていました。

会場ではごみの削減のため「マイ水筒やマイバッグを持参する」などの声が聞かれました。今回のフォーラムは、一人一人がごみの減量や環境保全のために何ができるかを自主的に考えてもらう良い機会になりました。皆さんも環境について考えてみてください。



▲ペットボトルのごみを釣り上げる参加者

マイクロプラスチックを知っていますか

最近「マイクロプラスチック」という言葉が、国際的なキーワードになっています。これは5ミリ以下の細かいものを指しますが、大きく分けて次の2種類があります。

一つは洗顔料や歯磨き粉などのスクラブ材に利用されている、もともとマイクロサイズで製造された一次的マイクロプラスチックです。もう一つは大きなサイズで製造されたものが、紫外線や波などの自然環境によって破碎、細分化されマイクロサイズになった二次的マイクロプラスチックです。マイクロプラスチックは海に漂い、食物連鎖の中で生態系や人体に及ぼす影響が懸念されていて、県内でも大気中に浮遊していることが確認されました。

この問題を解決するために必要なことは、まず、マイクロプラスチックの大部分を占める海洋中のものをこれ以上増やさないことが挙げられます。直接、海洋投棄されたものはもちろんのこと、陸で捨てられ、河川を下って海に流れ着いたものも少なくありません。

私たちが今すぐにはできることは、マイクロプラスチック問題について興味を持ち、不要なレジ袋の使用は控える、屋外で出たごみは必ず持ち帰ることなどです。身近なことから取り組みましょう。



▲波打ち際のマイクロプラスチック